

第1回田辺市総合計画審議会 会議録

第1回田辺市総合計画審議会会議録

日 時	平成23年4月15日（金）午後1時30分～午後2時45分
場 所	田辺市役所3階 第1会議室
出席委員	24名
欠席委員	2名
会議事項	1. 開会 2. 開会挨拶【田辺市長】 3. 委員紹介 4. 会長、副会長選出 5. 諮問 6. 議事録署名委員の選出 7. 議事 (1) 総合計画の概要について (2) 策定スケジュールについて (3) 市民アンケートの結果について 8. 部会の設置について 9. その他 10. 閉会

1. 開会

2. 開会挨拶【田辺市長】

総合計画審議会の発足に際しまして、一言ご挨拶申し上げます。

皆様方には、公私共お忙しいところ、こうして一堂に会されましたことに厚く御礼申し上げますとともに、本日、審議会委員を委嘱させていただくこととなりましたので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

また、皆様方におかれましては、それぞれの分野においてご活躍されており、このことに対しまして深く敬意を表しますとともに、平素から田辺市政にご理解とご協力を賜っておりますことにつきましても、併せて御礼申し上げます。

さて、平成17年5月1日に新田辺市が発足してから、早いもので、まもなく丸6年が経過しようとしています。これまでの間、新市のまちづくりの指針として、第1次田辺市総合計画を策定し、将来像「自然と歴史を生かした新地方都市 田辺」の実現に向けて、「産業力の強化」、「文化力の向上」、「地域力の充実」の3つの政策をもとに、各種課題の解決も図りながら、まちづくりを進めてきたところであります。

こうした中、平成24年度には、当計画の計画期間も後半戦に入っております。残された期間の中で、市民の皆さんと共に、課題の解決も図りながら、「市民にとっての価値」、「田辺市を訪れる人にとっての価値」、そして「田辺市そのものの価値」を高めると同時に、新たな価値を創造する取組を進める中で、国内外において存在感があり、心豊かに暮らせる「新地方都市」を創り上げてま

いりたいと考えております。

そのためには、まず、市民の皆さんと共有し、共にまちづくりを進めていくことができる計画づくりが必要となり、今回の後期基本計画の策定に当たりまして、委員の皆様方には、忌憚のないご意見やご提言をいただくなど、より良い計画づくりにご協力を賜りますよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。

最後になりましたが、委員の皆様方のますますのご健勝とご活躍をお祈り申し上げ、開会にあたってのご挨拶とさせていただきます。

本日は、どうもありがとうございました。

3. 委員紹介

出席委員及び事務局職員の紹介

4. 会長、副会長選出

委員より事務局案を求める声あり。事務局からは選考委員会を設置し、会長、副会長を選出してはどうかと提案し、委員より「異議なし」との声あり。選考委員5名を選出し、別室にて協議を行う。

■選考委員長より選考結果の報告

池田裕明委員を総合計画審議会会長として、副会長として良原昌子委員を選出する。

5. 諮問

真砂市長から池田会長に対して、田辺市総合計画審議会条例第1条の規定に基づき、第1次田辺市総合計画後期基本計画について、審議会の意見を問う諮問書を手渡す。

6. 議事録署名委員の選出

議事録署名委員については、田辺市総合計画審議会規則により会議ごとに会長と2名の委員で構成することとなっており、2名の委員の選出方法について、名簿のアイウエオ順で選出したいことを事務局案として提案し、委員より「異議なし」との声あり。

この結果、第1回審議会の議事録署名委員として、A委員、B委員を選出する。

7. 議事

- (1) 総合計画の概要について（事務局から説明）
- (2) 策定スケジュールについて（事務局から説明）
- (3) 市民アンケートの結果について（事務局から説明）

【質疑応答】

(C委員)

先の東日本大震災において、市役所自体が津波で流されたり、職員が半分になってしまった自治体があるといった報道があったが、田辺市の本庁舎についても相当海に近いところにあり、果たして大丈夫なのかといった感がある。市役所自体が潰れてしまったり、職員が半分になってしまうと、

その後の復興に遅れや支障が生じるのではないかと考えている。

こうした中で、市役所自体をもう少し高台に移転させるべきと考える。具体的には、新万にある西牟婁振興局について、市役所が西牟婁振興局の機能を引き受けるなどして市役所自体を西牟婁振興局に移転させるといったような考えを個人的には持っているがどうか。

(事務局)

今後の議論や部会審議の中でも、防災分野については、喫緊の課題として取り上げられるのではないかと考えている。庁舎移転など具体的なところまで踏み込めるかどうかはわからないが、地域防災計画の見直しと併行して、この審議会でも考え方や方向性などのご意見をいただいて、計画に反映できるものは反映していきたいと考えている。また、実質的な事業については、地域防災計画と歩調を合わせた中で総合計画実施計画において議論していきたいと考えている。

(会長)

この件については、本日の会議の中で具体的に話し合いをする時間も無いので、また、後日の部会の中でも議論していきたいと思う。

(A委員)

市民アンケートの内容についてはこの程度でいいのか。もう少し設問範囲など広げた方がいいのではないか。

(事務局)

満足度、認識度を中心に市民アンケートを行っている。数値目標については、この市民アンケートの数値以外にも担当する部局と協議しながら、わかりやすい指標や目標値を盛り込んでいきたいと考えている。

(D委員)

市民アンケートの中で「高齢者」という文言が出てくるが、この「高齢者」の定義は何歳からとなるのか。また、後期基本計画終了時である平成28年度の田辺市における人口構成については、どのようなイメージを持っているのか。

(事務局)

高齢者の位置付けについては、65歳以上としている。また、平成28年度時点の人口構成の予測についてであるが、人口の公表数値については、5年ごとに行われる国勢調査の数値を基本としており、平成22年10月に実施した国勢調査の結果については、現在のところ市全体の人口しか公表されていない中で、高齢化率までは把握できていない。なお、直近のデータとして平成17年度の国勢調査における市全体の高齢化率については25.2%、全国平均については20.1%となっており、田辺市の方が全国平均と比べて5.1ポイント高齢化が進んでいるといった結果が出ている。

この平成17年度の調査以降、少子化の進行や若年層の転出状況を勘案しても、平成22年度における調査結果については、前回の25.2%を上回ることは避けられないものと考えている。今後、平成28年度に向けては、人口減少もそうであるが、若年層の流出をいかに食い止めるかといったことが大きな課題であり、様々な取組を進める中で人口減少を抑えたり、年齢の均衡化を図っていきたいと考えているところであるが、いずれにしても、平成28年度の人口構成の予測については現在のところ算出できていないといった状況である。

(E委員)

この審議会の今後の進め方について具体的に説明をしていただきたい。

(事務局)

今後の進め方については、行政の方で現況と課題や基本方針、施策展開などの素案を作成し、それをもとに各部会でご意見をいただいた中で、加筆修正などを行っていきたいと考えている。

(E委員)

前期基本計画の内容についてはある程度良い内容となっているので、委員の作業内容としては、この計画に上積みをしたり、悪い部分について指摘をするといった役割になるのか。

(事務局)

前期基本計画策定時の5年前と比べて社会経済情勢も大きく変化している中で、もう一度現況と課題について押さえ直す必要がある。この現況と課題を押さえ直すことにより、新たな基本方針や施策展開を行っていかねばならないものなどが出てくるので、まずは、現況と課題について、部会の方で議論をいただき、それを基に新たな施策展開等についてまとめていきたいと考えている。

8. 部会の設置について

事務局からこの審議会については、教育や人権、市民活動などの分野について審議する「人・協働部会」、福祉、医療、防災などの分野について審議する「安心・安全部会」、産業、道路、環境などの分野について審議する「活力・快適部会」と3つの部会を設置する。

また、各委員の所属部会については、各委員の選出母体となっている団体の性格などを踏まえた上で、事務局であらかじめ選任を行う。

9. その他

事務局から次回の審議会の開催日程について、各部会ごとに開催すること及び開催日時については各部部长と日程調整の上、改めてご連絡させていただくことを連絡する。

10. 閉会